



2024年5月15日

各 位

G M B 株 式 会 社
代表取締役社長 松岡祐吉
(コード番号: 7214 東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役 善田篤志
(TEL 0745-44-1911)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状認識

2024年3月期のROEは1.8%と当社が認識している株主資本コスト8~9%程度を大きく下回る状況にあり、PBRにつきましても、直近で0.3倍と1倍割れの水準が継続しております。これらの要因として、最終利益が安定せず、利益率も低い状況が続いていること、その改善のための成長戦略に対する情報発信が不足していることなどがあると考えております。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
期末終値(円)	1,768	861	565	974	744	869	1,150
EPS(円)	334	43	▲174	▲60	125	229	77
BPS(円)	4,340	4,159	3,875	3,801	4,012	4,172	4,312
PBR(倍)	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3
ROE(%)	8.2	1.0	▲4.3	▲1.6	3.2	5.6	1.8

2. 基本方針

上記の現状認識を踏まえ、収益力の向上、資産効率性の向上、成長戦略に関する情報発信の強化などにより、ROEとPERを継続的に改善することで、PBRの改善を目指します。そのために、当社は2026年度のROE7%を目標とする中期経営計画を策定いたしました。その計画を着実に実行してまいります。

3. 具体的な対応

- ① 成長戦略の実行
- ② 株主還元の強化
- ③ IR活動の強化

※内容の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2024年5月15日

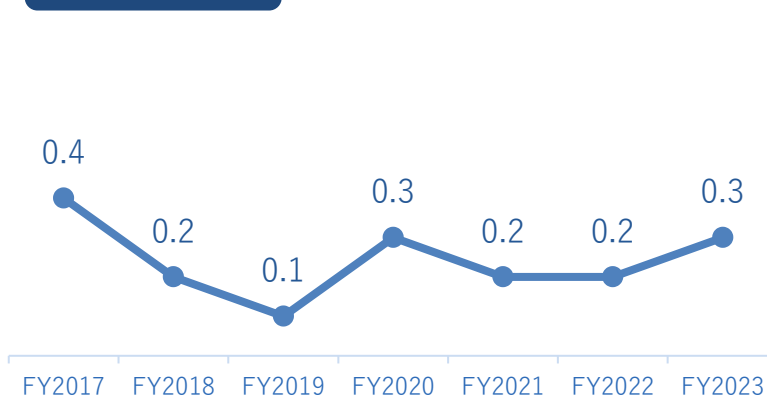
G M B 株式会社
東証スタンダード市場
証券コード：7214
<https://www.gmb.jp>

現状分析

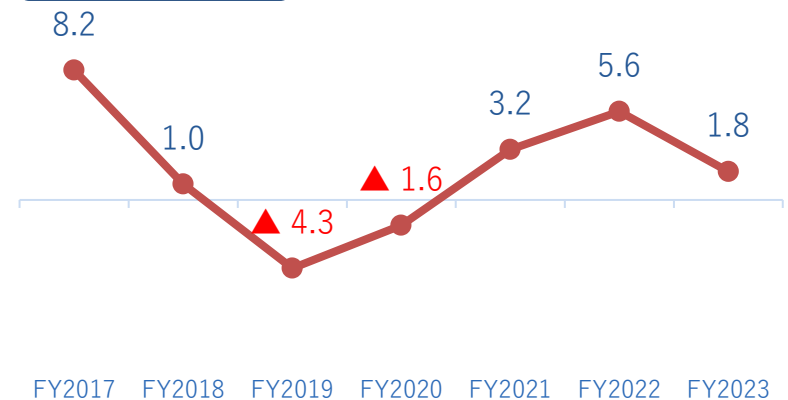
- PBRは直近0.3倍と1倍割れの状況が続いている
- 株主資本コストを8~9%程度と認識しているが、ROEはそれを継続して下回っている
- PERは同業平均10倍程度に対して、低い状況が続いている
- これらの要因として、最終利益が安定せず、利益率も低い状況が続いていること、その改善のための成長戦略に対する情報発信が不足していることなどが考えられる。

		FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
期末終値	(円)	1,768	861	565	974	744	869	1,150
EPS	(円)	334	43	▲174	▲60	125	229	77
PER	(倍)	5.3	19.9	▲3.2	▲16.2	5.9	3.8	14.9
BPS	(円)	4,340	4,159	3,875	3,801	4,012	4,172	4,312
PBR	(倍)	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3
ROE	(%)	8.2	1.0	▲4.3	▲1.6	3.2	5.6	1.8

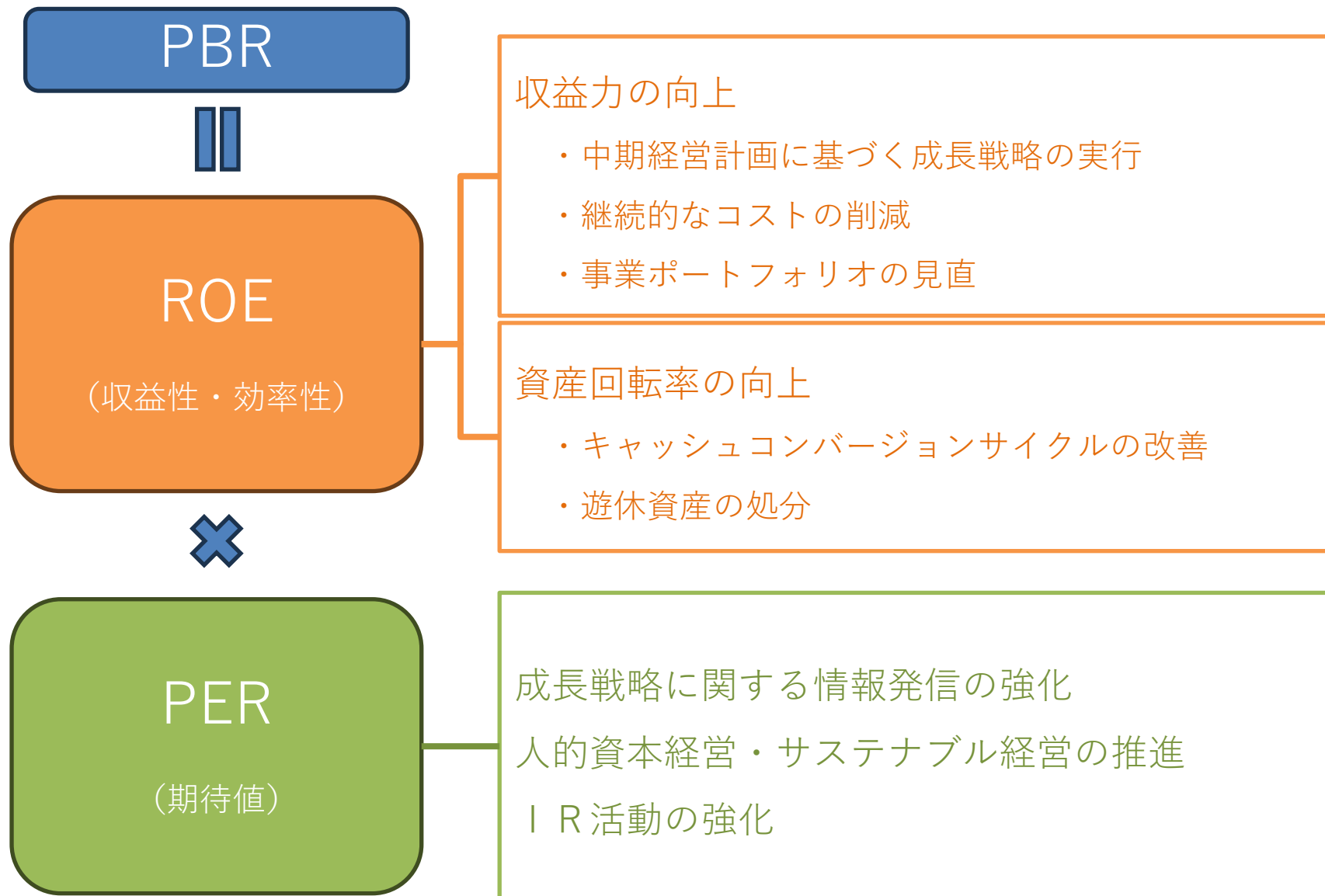
PBRの推移



ROEの推移



PBR改善に向けた対応方針



具体的な対応① 成長戦略の実行

- 2026年度のROE 7.0%を目標とする中期経営計画を策定 & 始動
- 次の重点戦略を中心に、成長投資に資金を優先配分し、事業の拡大と収益の向上を図る
 - ① 電動化対応
 - ② 顧客のグローバル戦略対応
 - ③ 補修用部品の拡販
 - ④ OEM外注化対応

※ 詳しくは2024年5月15日開示の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」を参照ください。

4. 中期経営計画の概要

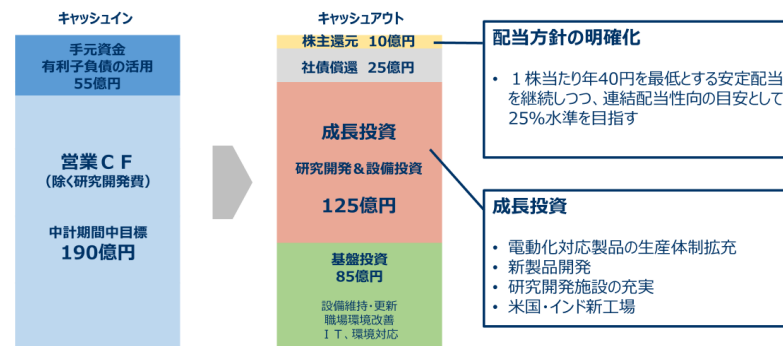
主要指標の推移

	(億円)					
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	
売上高	871	962	1,070	1,165	1,300	
営業利益	21	16	37	43	50	
(利益率)	(2.5%)	(1.7%)	(3.5%)	(3.7%)	(3.8%)	
純利益	12.1	4.0	10.0	13.5	18.0	
(利益率)	(1.4%)	(0.4%)	(0.9%)	(1.2%)	(1.4%)	
設備投資額	38.9	47.1	62.5	40.0	40.0	
ROE	5.6%	1.8%			7.0%	
換算レート	USD	131.45	140.55	145.00	"	"
	KRW	0.1017	0.1076	0.1100	"	"

7. キャピタルアロケーション

基本方針

- 成長投資に優先配分し、更なる収益・営業CF創出につなげる
- キャッシュコンバージョンサイクルを改善し、更なるROE向上と営業CF増加を図る
- 配当方針を明確にし、株主還元を強化する



配当方針の明確化

- 1株当たり年40円を最低とする安定配当を継続しつつ、連結配当性向の目安として25%水準を目指す

成長投資

- 電動化対応製品の生産体制拡充
- 新製品開発
- 研究開発施設の充実
- 米国・インド新工場

具体的な対応② 株主還元強化

- 安定配当の最低水準を引き上げ、配当性向の目標値を設定する配当方針に見直し、株主還元を強化

配当方針の明確化

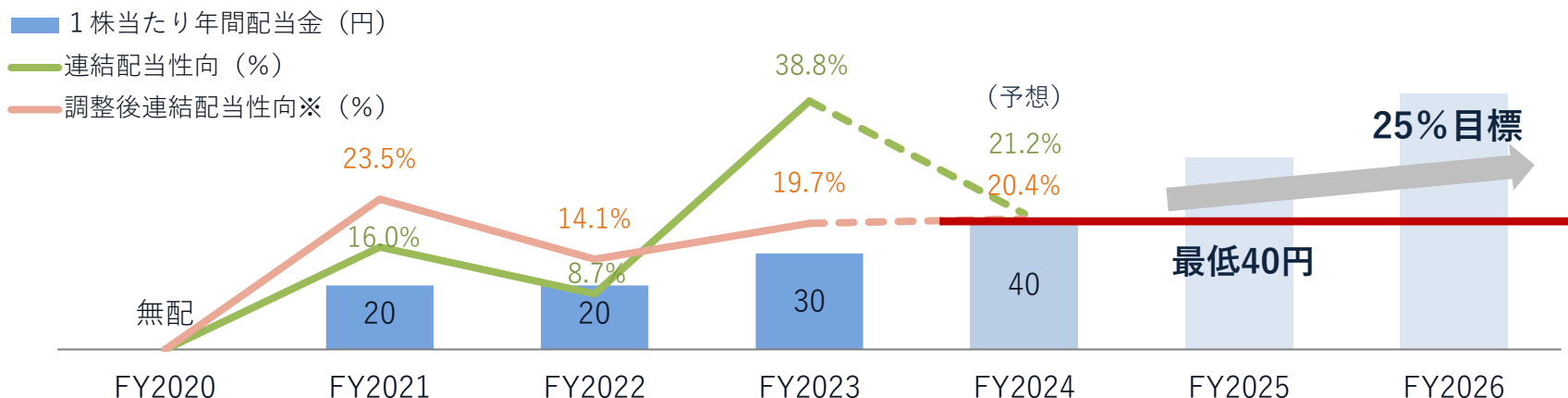
【従来】

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施する。

【変更後】

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、**年間40円を最低配当金とし、2026年度までに連結配当性向25%を目標とする**配当を実施する。

配当金と配当性向の推移・計画

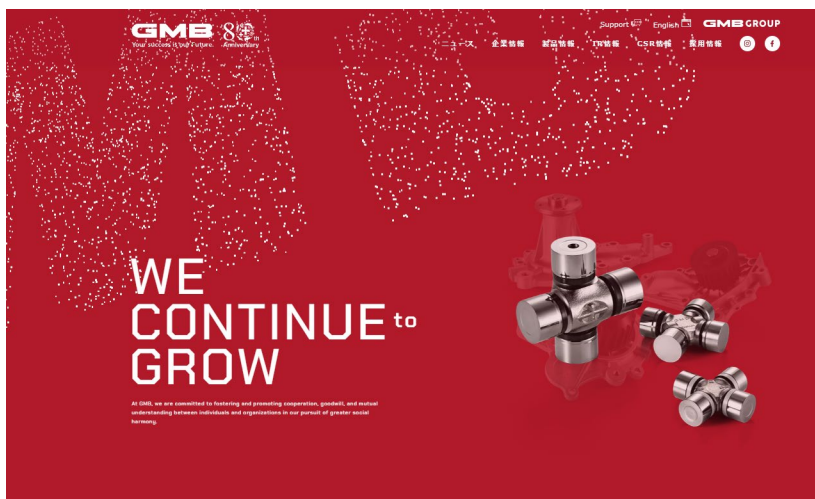


※調整後連結配当性向とは、損益の一時的特殊要因である韓国子会社の退職給付債務の数理計算上の差異およびそれにかかる税金費用相当額、非支配株主に帰属する当期純利益の影響を試算、控除したもの

具体的な対応③ | R活動の強化

- コロナ禍以降開催を見合わせていたアナリスト・機関投資家向け決算説明会の再開
- コーポレートサイトのリニューアル（2024年3月更新済）と活用による情報発信の強化
- 機関投資家との面談や取材対応、個人投資家向け説明会等、対話の機会の増加

新コーポレートサイト（<https://www.gmb.jp>）のトップページとIR情報「GMB早わかり」ページ





- 将来予想に関連する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえでご利用ください。
- 本資料および当社IRに関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>

G M B 株式会社 経営企画部

Email : ir@gmb.jp